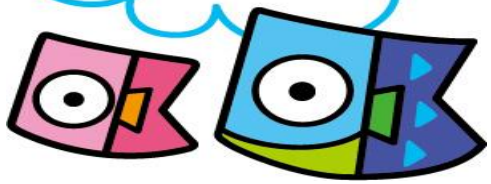
保護者の皆様
御協力ありがとう
ございました



子育てのヒント

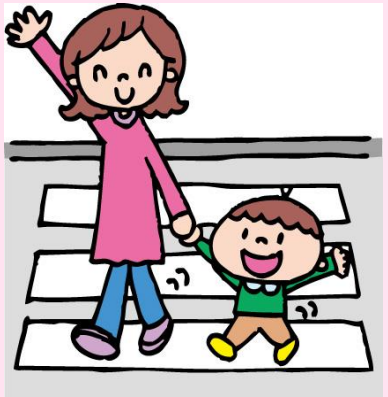
子育て エピソード集

家庭編パート3

子供の素朴な疑問や心温まる言葉、大人のハッとした言葉など、いろいろな実例が寄せられたものです。

加須市立加須幼稚園・PTA

生活編



自分で育てた枝豆　生活①

子供と一緒に、水耕栽培で枝豆を栽培しました。子供は、毎日のように「芽はでたかな?」と観察をし、大切に育てていました。そして、ようやく小さな豆がつき始めました。

「赤ちゃん豆だね。かわいいね!」

「本当だね。かわいいね!」

子供は、枝豆をとてもかわいがっていました。

そして、いよいよ収穫の時を迎えました。子供が大切に育てた豆を摘むことに少しだけ心が痛みましたが、茹でて試食をすると…

「おいしい!」

「おいしいね！」

自分で育てた枝豆は、きっと格別だったのでしょう。枝豆の栽培を通して、たとえ植物であっても「命を頂いている」ということを親子で実感することができました。

親子で大切に育てたことで、「命をいただく」ということを親子で理解することができました。

雨の日の登園

生活②

その日は、朝から雨がしとしと降っていました。

「雨が降っているからお外で遊べない！そんなのいやだ!　つまんない!」

そんな時、カッパを着るのが大好きだということを思い出し…。

「今日は、カッパを着て幼稚園に行けるよ!」

「長靴と、傘も?」

「うん! 持っていこう!」

「やったぁ!」

ちょっとした一言が、子供の気持ちを前向きにさせました。子供のことをよく知っていなければなりませんね。

お薬飲まない！

生活③

小児科を受診し、粉薬を処方された時のこと。

「お薬飲みたくない！」

「どうして?」

「だって、苦いんだもん!」

「苦くても我慢して飲めば、病気が体から逃げていくから元気になるよ!」

「早く元気になって、幼稚園に行って、お友達と遊ぶから頑張って飲む!」

苦い薬と、楽しい幼稚園とを天秤にかけたら、迷わず幼稚園が選択されたのですね。

生活④

朝８時になると…。

幼稚園の友達と早く遊びたいという気持ちからか、朝８時になると…

「早く、幼稚園に行こうよ!!」

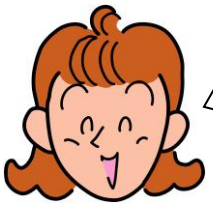
「遅れちゃうよ」

「まだ幼稚園は、始まっていないよ！」

雨の日に、いつもの時間よりも早く幼稚園にお迎えに行くと…。

「早く来ないで！あと、５時間待って!」

幼稚園での生活が楽しくて仕方がないようです…。



朝は早く登園し、帰りはゆっくり帰りたいという気持ちが言葉に表れていました。幼稚園に通うことを楽しみに、早寝、早起き、朝ごはん、規則正しい生活のリズムが身につくようにしたいです。

生活⑤

食べたものはどこにいっちゃうの？

食事をしていた時のこと。

「モグモグごっくんしたものは、どこにいっちゃうの?」

子供の体に触れながら…。

「胃に入って、腸に運ばれて、体に栄養が吸収されて、身長が伸びたり、体重が増えたりするんだよ」

子供にとって難しい言葉を使ってしまい、理解できたか不安でしたが、体に触れながら伝えたことで、子供なりに理解できたようでした。

他者との関係編

他者との関係①

イライラ虫さようなら！

朝から体調が優れず、子育てのイライラを子供に向けてしまいそうな予感がした時のこと…。

「今日、お母さん具合が悪くてイライラ虫が出ちゃうかも。先に謝っておくね。ゴメンネ。」

「こっちこそゴメンネ！イライラ虫がでちゃうようなことしちゃって。」

その言葉のお陰で、イライラ虫は彼方に飛んでいきました。

自分の体調が悪い時など、ついイライラした感情を子供にぶつけてしまいそうになります。子供の方が一枚うわてだなと感じました。こんな時は、無理をせず、なんでも子供に手伝ってもらおうと思います。

他者との関係②

我が家のルール

我が家では、「小さい子が先に」「小さい順に」とは言わないようにしています。上の子が我慢するのではなく、お互いに話し合って順番を決めるようにしています。

「今日は、僕が先ね！」

「いいよ！」

お互いに我慢する時があるということが分かるようになり、「〇〇ちゃんずるい!」などという言葉は聞かなくなりました。

つい、「お兄ちゃんだから…」「お姉ちゃんだから…」と言ってしまいそうになりますが、子供たちがお互いに思いやりをもって過ごせるように、その言葉は使わないようにしています。

他者との関係③

傘の忘れ物

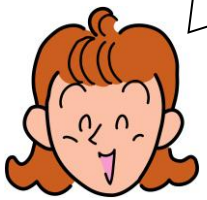
電車に乗った時のこと。向かい側の席に座っていた人が傘を忘れて立ち上がりました。

「あの人、傘を置いて行っちゃった！」

「どうするの?」

その人はすぐに傘を忘れたことに気づき、持ち帰ることができました。しかし、子供に言われるまで、見て見ぬふりをしてしまった自分が恥ずかしくなりました。

子供には、そんな親切な思いを大事にしていって欲しいなと思います。



他者との関係④

あいさつ

「もう少し大きな声であいさつをしてみようか?」

「うん…。」

「大きな声であいさつをすると、自分も気持ちがいいし、相手もとってもいい気持ちになるんだよ」

その後親子で練習し、さわやかで大きなあいさつができた時、「それいいね!」とほめました。大きな自信になったようです。

他者との関係⑤

お手伝い

キッチンで作業をしていると…

「ママ、拭くものちょうだい！」

「えっ!また何かこぼしたの?」

「違うよ。お掃除するの!」

「そうなの?　じゃあお願いね。」

その後、床や棚を一生懸命に拭いてくれました。きまぐれで手伝ってくれたのかもしれませんが、嬉しかったです。

他者との関係⑥

みんなで食べよう

近所の人にお菓子を頂いた時のこと…。

「(お姉ちゃんと)仲良く食べなさい。」

「どうして?」

「だって、二人にもらったんだよ。」

「じゃあ、みんなで食べよう!」

「みんなで食べると、少ししか食べられないよ。」

「いいの。少ししか食べられなくても家族全員で食べたほうがおいしいに決まっているから。」

自分のことだけでなく、家族のことも大切にしてくれる優しさ、思いやりが嬉しかったです。お友達に対しても、優しさや思いやりの心をもって欲しいです。

他者との関係⑦

洗濯物の山

昨日取り込んだ洗濯物が、部屋の隅に山になっていたのを見て…。

「洗濯物をたたむから、ママはしまってくれる?」

すると、下の子まで…。

「私もやるー!」

姉妹で洗濯物たたみが始まりました…。

「ママ、早くしまって!」

「はい!分かりました。」

「お手伝い、ありがとうね。」

３人で取り組んだら、あっという間に洗濯物の山がなくなりました。「ありがとう」と言ってもらい、子供たちも嬉しかったようです。

興味・関心編

興味・関心①

オリジナルのお話！

毎日寝る前に、絵本の読み聞かせをしています。時々登場人物を子供の名前にしたり、オリジナルのお話を作ったりします。

「お母さん、今日はこの本読んで！」

「それじゃあ、今日は、〇〇ちゃんがでてくるお話にしようね。」

「やったぁ。」

お話を作るときは、子供たちも物語を考え、話がどんどん膨らみます。

子供たちの想像力がとても豊かなことを実感し、大切にしてあげたいと思うと同時に、思う存分なにかを作り上げるのも楽しそうでいいなと思っています。

興味・関心②

花火

花火大会で、夜空に大きな花火が打ち上がった時のこと。

「ふーってしたら、消えちゃうかな？」

「どうかなぁ…。」

バースデーケーキのろうそくの火にたとえたようです…。

他にも、風船を膨らませている
パパを心配して、
「そんなにやったらお口の中の
空気がなくなっちゃうよ!」と、
言っていました。
子供の感性には驚かされます。

興味・関心③

サラダづくり

子供とサラダを作ろうとした時のこと。包丁でミニトマトを切って、種と汁が飛び出た瞬間…。

「ママ、トマトさん、げっぷしちゃった!」

「おもしろいね。」

「うん!」

子供なりの例えに思わず笑いが。
楽しくサラダを作りました。

興味・関心④

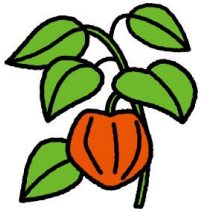
ご先祖様

夏休みの出来事です。

「ママ、お盆って何するの？」

「ご先祖様がおうちに帰ってくるんだよ。だから、お墓に行ってご先祖様をお迎えに行くよ」

「うん！」



お墓参りを済ませ、自宅に帰ってくると…。

「ご先祖様おかえりなさい！」

まるで、ご先祖様が見えているかのようなかわいい一言でした。

興味・関心⑤

絵本をよんであげる

自分で絵本を読むことを覚え、時々読んでくれるようになりました。

「お母さんに、絵本を読んであげる」

「ありがとう！すごいね。」

「先生がこうやって読んでくれるんだよ。」

「そうなの。」

絵本をこちらに向けて、ゆっくりと読んでくれます。大変そうだけれど、一生懸命に読んでいる姿を見て嬉しく思いました。